

**【第301号 紙面案内】**

第2面…常任理事会報告

第3～5面…第74回日本マネジメント学会全国研究大会プログラム

第6面…第74回全国研究大会 大会校案内—流通科学大学—

第7面…各部会からの報告

第74回全国研究大会解題 「地域創生のマネジメント」

実行委員長 木村 敏夫（流通科学大学）

統一論題は「地域」と「創生」とした。マネジメント学会である。これに「マネジメント」を付した。三語が示唆する含意の組合せが統一論題である。

「地域創生」「地方創生」と掛け声が先行し、具体的な概念も指針も存在しないのではない。言葉が一人歩きを始めている。再生、街おこし等が叫ばれた時期もある。

創生に関する法は制定された。「創生」は、第三者に、「地域・地方」に、街を創り、人を創り、仕事を創ることを実行することを希求する。法は遵守する最低限を規定する。つまり、責任の逃げの規定、構造でもある。しかし、実行可能性を示唆しない。

「創成」は、「初めて出来ること」「初めてつくること」と言語辞書にある。「創生」と言う語は見当たらない。創成、創世でもなく「創生」とは。「何かを創り出す」ことにあるようだが、これは創成、創世と同義と考える。

創るとは「無」から創造されるものではなく、「有」から「有」を創造する。「創生」は都道府県等の自治体に計画立案等を委託し、経済的資源の配分、事業予算等を配分する。これでは、これまでと何ら構造に変化がある訳でもない。

「創生」の実行は、地域単位、地方単位、国家単位で、それぞれ何を為すべきか。事業の創生は難しいことではない。資本（予算）配分、経済的資源の配分、「創生プロジェクト」を立案し実行すれば良い。その場、一定期間、短期間は維持可能である。これには事業を持続可能とする方法論が欠如している。

創生するための事案が持続可能な地域に「価値」を創出するにはマネジメントが不可欠である。マネジメントの論理、方法が課題になる。マネジメントなく、持続することはない。「持続可能性」とするためには、資源配分効率、効果の測定、マネジメントは如何にあるべきか。

研究大会は、創生に係わり、立案と実行を担う立場の相違する方々、独自に実行している方々、既に有から有を創出、具体的な行動に携わり、事業を持続されている方々に登壇して頂き、創生事業の企画立案、実行、評価、再事業化・資源的配分、課題等を議論して頂き、地域、創生とマネジメントの三位一体、一貫性を思考していただく場としたい。

常任理事会報告

日 時：平成 28 年 9 月 3 日 (土) 17:00 ~ 18:00

場 所：山城経営研究所 会議室

議 題

(1) 第 74 回全国研究大会について

第 74 回全国研究大会（流通科学大学：平成 28 年 10 月 14 日～16 日）のプログラム、準備状況等についての説明があった。当プログラムについて承認された。

(2) 会員の入退会の承認について

入会（個人 9 名）、退会（個人 3 名）が承認され、合計（個人 643 名、法人 5 社）となったことが報告された（平成 28 年 9 月 3 日現在）。

(3) その他

国立情報学研究所電子図書館にある予稿集と『経営教育研究』のデータのうち『経営教育研究』のデータを学文社に移行することが報告された。

会員名簿に記載されている会長任期の文言について調整することが報告された。

経営関連学会協議会の英文ジャーナルのレフェリーとして当学会から選出することとなった。

国際委員会から、韓国経営教育学会から『経営教育研究』を送ってほしいという依頼を受け、過去 5 年分の 10 冊を送付したことが報告された。また、台湾・シンガポールとの交流について提案があった。

第 75 回全国研究大会が東洋大学白山キャンパスにて平成 29 年 6 月に開催される見込みであることが報告された。

第74回日本マネジメント学会全国研究大会プログラム

統一論題 地域創生のマネジメント

会場：流通科学大学

第1日 2016年10月14日(金)

- 13:00 企業見学 (株式会社増田製粉所) 現地集合
神戸市長田区梅ヶ香町1丁目1番10号
- 17:00 理事会 (流通科学大学 研究講義棟3棟1階3111会議室)

第2日 2015年10月15日(土)

受付 9:30 講義研究棟2【1階】2115室

講義研究棟2【1階】2111室

10:00～10:15 開会挨拶 第74回全国研究大会実行委員会 木村敏夫氏
会長挨拶 日本マネジメント学会会長 柿崎洋一氏

産学シンポジウム講演 講義研究棟2【1階】2111室

(報告者45分 質疑15分 計60分)

10:25～11:25	講演【地域創生と企業の役割】
報告者	株式会社増田製粉所代表取締役社長 武政亮佐氏
講演テーマ	食生活の変化と企業経営
司会者	木村敏夫氏

自由論題報告1 講義研究棟2【2階】

(報告25分、コメントおよび質疑15分 計40分)

11:35～12:15	A会場 2213 講義室	B会場 2214 講義室	C会場 2215 講義室
報告者	井上善海氏 (東洋大学)	塩見芳則氏 (大阪芸術大学短期大学部)	
報告テーマ	中小企業の外部機関との 連携—モノ作り中小企業 1,200社を対象とした調査 をもとに—	ミドル・マネジャーの役割 行動に関する研究—コア・ ストラテジー・ミドルの有 効性—	
コメンテーター	高垣行男氏 (駿河台大学)	福原康司氏 (専修大学)	
司会者	大野和巳氏 (文京学院大学)	當間政義氏 (和光大学)	

12:15～13:15 昼食

統一論題シンポジウム 地域・地方と国家 講義研究棟 2【1階】2111 講義室
(報告者 35 分、討論者 15 分、討議 45 分 計 180 分)

13:20 ~ 16:20	【地域創生と地域計画】
報告者	松原茂仁氏 (関西国際大学) 地方創生とアグリビジネス
報告者	稲松敏彦氏 (神戸市役所) 地域創生－神戸市の取り組みと課題
報告者	毛利雄一氏 (IBS計量計画研究所) 国土のランドデザイン
討論者	櫻澤仁氏 (文京学院大学)
司会	佐々木利廣氏 (京都産業大学)

[13:20~13:55、14:00~14:35 [10 休憩] 14:45~15:20 討論者 15 分 (15:35)、討論 15:35-16:20]

記念講演 講義研究棟 2【1階】2111 講義室

16:30 ~ 17:30	記念講演
講演者	金野幸雄氏 (一般社団法人ノオト代表理事)
講演テーマ	地域創生と古民家再生のマネジメント
司会者	木村敏夫氏 (流通科学大学)

17:45 ~ 19:15 懇親会 [受付 17:00] 学内レストラン 1階

第 3 日 2016年10月16日(日)

9:30 ~ 13:00 受付

統一論題シンポジウム 観光まちづくりと地域創生 講義研究棟 2【1階】2111 講義室
(報告者 35 分、討論者 10 分、討議 40 分 計 120 分)

10:10 ~ 12:10	観光と地域創生
報告者	岸野啓一氏 (岸野都市交通計画コンサルタント)
報告テーマ	最近の観光まちづくりマネジメント事例
報告者	庄司貴行氏 (立教大学)
報告テーマ	食農による地域創生のフレームワーク
討論者	村瀬慶紀氏 (鈴鹿大学)
司会者	細野賢治氏 (広島大学)

[10:10 ~ 10:45、10:45 ~ 11:20、討論者 (11:20 ~ 11:30)、討論 11:30 ~ 12:10]

12:10 ~ 13:00 昼食 会員控え室 講義研究棟 2【1階】2109 講義室

自由論題報告 13:00～15:10

(報告 25 分、コメントおよび質疑 15 分 計 40 分)

自由論題報告 1 講義研究棟 2【2 階】

司会者	手塚公登氏 (成城大学)	須田敏子氏 (青山学院大学)	大平浩二氏 (明治学院大学)
13:00～13:40	A会場 2213 講義室	B会場 2214 講義室	C会場 2215 講義室
報告者	東 俊之氏 (金沢工業大学)	世良和美氏 (広島大学大学院)	田中克昌氏 (東洋大学大学院)
報告テーマ	伝統産業の地域性、伝統性 —地域協働の視点から—	戦略的CSR検討のための ステイクホルダー論につい ての一考察	ユーザー・イノベーション がもたらすイノベーション ・リーダーの変質—提 供企業に求められるイノ ベーション・マネジメン ト—
コメンテーター	馬場晋一氏 (長崎県立大学)	鈴木秀一氏 (立教大学)	間嶋崇氏 (専修大学)

自由論題報告 2

13:45～14:25	A会場 2213 講義室	B会場 2214 講義室	C会場 2215 講義室
報告者	大杉奉代氏 (香川大学)	堀内美雅乃氏 (大鵬薬品工業株式会社)	東 史恵氏 (専修大学大学院)
報告テーマ	中小企業のネットワークに 関する一考察—四国地域の 新連携事例—	日本企業の戦略的再方向付 け—製薬業界の事例を中心 として—	さまざまなアクターによ る協働的な学習と価値創 造：ロボットを活用した介 護サービスを事例として
コメンテーター	小嶋正稔氏 (東洋大学)	羽田明浩氏 (国際医療福祉大学)	松本潔氏 (産能短期大学)

自由論題報告 3

14:30～15:10	A会場 2213 講義室	B会場 2214 講義室	C会場 2215 講義室
報告者	濱田初美氏 (立命館大学)	細貝圭二郎氏 (有限会社細貝地域サービス)	溝下 博氏 (広島大学大学院)
報告テーマ	Active Learning 方式による 経営幹部の養成	東日本大震災前後の石巻市 における地価変動について の一考察	プラットフォームサービ スの考察—PFの仲介者の ビジネスモデル—
コメンテーター	間間理氏 (九州産業大学)	杉田博氏 (石巻専修大学)	相原章氏 (成城大学)

15:10 閉会

第 74 回全国研究大会 大会校案内 —流通科学大学—

流通科学大学 (www.umds.ac.jp) は神戸市営地下鉄学園都市駅 (新幹線新神戸駅より約 25 分、神戸の中心地、三宮から約 23 分、神戸空港から三宮まで約 18 分、大阪から三宮まで特別快速約 25 分) より徒歩約 5 分に位置します。「学園都市」として諸環境が整備され、閑静な住宅街として、住民数も増加しています。大学キャンパス 2 棟 6 F 以上からは淡路島、明石大橋を展望できる高台に位置します。また、地下鉄名が示すように周囲に兵庫県立大学、神戸市看護大学、神戸市外国語大学、神戸芸術工科大学、神戸市立工業高等専門学校が立ち並ぶ「神戸学園都市」に位置しています。研究、教育の相互交流も行われています。

流通科学大学は、日本で初めて「流通」を「科学する」ことを専門に研究・教育する大学として故中内功氏の提唱にもとづき 1988 (昭和 63) 年に開学しました。現在、「実学」を研究教育の柱としている。



混乱の時代、危機の時期にあつて、われわれがなすべきことは生産中心の社会を改革し、流通が主体性をもち、人間本位で、生活者のための社会を構築することにあると思考した。これを実現するために真っ向から流通に取り組み、生活者の立場に立った流通の在り方を、科学的に研究教育し、日本のみならず世界の人材を養成することが、真の流通

革命を実現し人類に豊かな社会をもたらす大道と確信して建学されたのです。以来、生活者の立場に立った「流通」の科学的研究と、日本のみならず世界が必要とする人材の育成を



目標に、産学の連携を基盤とするユニークな実践の学を研究しています。

開学時は商学部のみを設置でしたが、1992 (平成 4) 年には情報学部が、1996 (平成 8) 年に大学院流通科学研究科 (博士前期・後期課程) が、そして 2001 (平成 13) 年にはサービス産業学部は開設され、3 学部体制を構築、2007 年創立 20 周年を迎えています。2015 年 4 月学部を改組、現在では 1 研究科 3 学部 (商学部・経済学部・人間社会学部) 7 学科を擁し、約 3,200 名が学んでいる。

メインキャンパスは約 4 万 2 千坪に学生主体の学修施設、体育館、メインホール、グラウンド等の設備を、これに本格的な野球場を備えている。

社会の現実に根差した「実学」を基本に、国際的人材の育成につとめ、広く社会に開かれた大学をめざし、新しい地域社会、日本の社会に、そして世界に必要な人材を送り出しています。

◇◇関東部会からのお知らせ◇◇

佐藤一義（立正大学）

日本マネジメント学会関東部会を下記の通り、開催いたします。会員の皆様、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 28 年 9 月 17 日（土）14：00～

会 場：東洋大学白山キャンパス（東京都文京区白山 5-28-20）6 号館 3 階 6309 教室

会 費：1,000 円

プログラム：

- 第 1 報告：14：00～15：00（報告 40 分、質疑 20 分）

報告テーマ：「文系大学による持続可能な産学交流・地域連携」

報告者：松村洋平（立正大学）

コメンテータ：村井 淳（東京急行電鉄）司会：當間政義（和光大学）

- 第 2 報告：15：10～16：10（報告 40 分、質疑 20 分）

報告テーマ：「中国における民営非学歴高等教育機関の経営行動」

報告者：夏 芸（中国湖南大学・立教大学大学院）

コメンテータ：鈴木岩行（和光大学）司会者：河合博子（高崎商科大学）

- 第 3 報告：16：30～17：30（報告 40 分、質疑 20 分）

報告テーマ：「女性のグローバルキャリア形成に関する意思決定とキャリアサバイバル」

報告者：細萱伸子（上智大学）・新井範子（上智大学）

コメンテータ：内田 賢（東京学芸大学）司会：佐藤一義（立正大学）

- 懇親会：18：00～（会費 3,000 円）

※このたびの会報発送には間に合いませんが、活動の報告として掲載いたします（会報委員）。

◇◇中部部会からのお知らせ◇◇

水野 清文（奈良学園大学）

日本マネジメント学会中部部会では、第 54 回中部部会を、経営行動研究学会、経営哲学学会との 3 学会合同により開催予定です。皆様奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●日 時：平成 28 年 11 月 19 日（土）

●場 所：東海学園大学栄サテライト

●お問い合わせ：中部部会長・藤木 善夫（0561-36-5555, fujiki@tokaigakuen-u.ac.jp）

詳細につきましては、中部部会事務局・水野清文（奈良学園大学 〒636-8503 奈良県生駒郡三郷町立野北 3 丁目 12-1 TEL：0745-73-7800, k-mizuno@nara-su.ac.jp）までお問い合わせください。

また中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記水野宛にお知らせください。

◇◇関西部会からのお知らせ（報告者の募集）◇◇

関西部会長 佐々木利廣

平成 28 年度第 2 回関西部会を以下の日程で開催予定です。現在報告者を募集しております。報告を希望される方は、報告タイトル等（仮題でも結構です）を 10 月末までに下記の幹事あるいは佐々木まで御連絡くださいますようお願い申し上げます。
なお関西部会では随時報告者を募集しております。

記

1. 日時：平成 28 年 11 月 26 日（土）午後 1：30 分～
2. 場所：関西大学 100 周年記念館第 4 会議室
大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号 TEL：06-6386-3008
3. その他（報告の応募先）
部会会長 佐々木利廣（京都産業大学）E-mail：sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp
部会幹事 堀野亘求（大阪 NPO センター）E-mail：i1351029@cc.kyoto-su.ac.jp

住所変更・勤務先変更等のご連絡のお願いについて

学会事務局

会報にて定期的なお願いをしていますが、勤務先・連絡先、住所、電話、メールアドレス等の変更の異動情報がある場合は、速やかにメール等により事務局までご連絡をお願い致します。

異動情報のご連絡を頂けないために会報・機関誌が度々返却されてきていますので、会報・機関紙のタイムリーで確実な送付及び会員データの更新・維持管理のために、会員の皆様方のご協力をお願いします。

本年度は名簿作成年度に当たるため、早期のご連絡をお願い申し上げます。

経営関連学会協議会の英文ジャーナル投稿について

日本マネジメント学会会員は経営関連学会協議会の電子版英文ジャーナル「Journal of Japanese Management」に投稿できます。詳しくは経営関連学会協議会ウェブサイト（<http://www.jfmra.org/>）をご覧ください。

編集後記

いよいよ10月14日からの第74回全国研究大会が流通科学大学で開催されます。皆様とお目にかかれる日を楽しみにしております。
(会報委員会)

発行 日本マネジメント学会
(旧称：日本経営教育学会)

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-36
S&Sビルディング3F
株式会社山城経営研究所内（担当：武市）
TEL 03-6674-1836 FAX 03-5228-1233
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: <http://www.nippon-management.jp/>
印刷 株式会社ドットケイズ TEL 03-5206-1626
E-mail: win@good-ks.co.jp